

原因分析と再発防止対策

[工事工程]



《原因分析》

【根本原因】

- ケーブルの敷設にあたっては、系統間の分離を考慮した設計・施工を行うことを、プラントメーカー・施工会社へ要求していた
- その上で、ケーブル敷設後の「設備全体としての機能確認」に重点を置いた工事管理を実施しており、分離板・ケーブルの敷設状態の確認については管理していなかった。

【直接原因】

[プラントメーカー・施工会社に対し]

- 分離板・ケーブルの「敷設状態の確認」のルールを定めていなかった

[当社とプラントメーカー・施工会社ともに]

- 分離板・ケーブルの「敷設状態」に関する工事管理において、「敷設計画の確認」をしていない

- 分離板・ケーブルの「敷設状態」に関する工事管理において、「敷設結果の確認」をしていない

《再発防止対策》

【根本対策】

- ケーブル敷設に伴う「設備全体の機能確認」や「敷設状態の確認」など、統合的な管理を行うルールを明確にする

【直接対策】

[プラントメーカー・施工会社に対し]

- 分離板・ケーブル工事後の「敷設状態の確認」を要求

[当社とプラントメーカー・施工会社が]

- 工事前に分離板・ケーブル敷設に関わる工事内容の事前確認
 - 分離板の脱着・加工の有無
 - ケーブルの敷設ルート

[当社とプラントメーカー・施工会社が]

- 工事後に分離板・ケーブルの「敷設状態を確認」
(記録や現場立会いによる確認)

分離板・ケーブルの不適切な敷設
[注]発電所建設時やその後の改良工事の段階で発生